

— 日中友好文化事業・中国人殉難者慰霊祭 —

恒久平和と友好を

6月30日から7月5日まで「日中友好文化事業」として、中国物産展や中国料理教室、中国農業技術研修生との交流会などが中央公民館で行われ、中国文化にふれながら交流を深めました。

また、十瀬野公園墓地では6月30日に、中国関係者など約70人が参列して「中国人殉難者慰霊祭」が行われ、殉難者のご冥福を祈りながら、恒久平和と日中友好を改めて誓い合いました。



▲中国の暮らしに触れる

6月30日から7月5日まで中国物産展が開かれ、伝統工芸品や食料品など、中国の生活に肌で触れながら理解を深めました。



▲耿さん、42年ぶりに花岡へ

昭和20年6月30日夜に起きた「花岡事件」——中国から強制連行され、食糧も十分に与えられず過酷な労働を強いられ、ため蜂起した中国人労働者。当時のリーダーだった耿諱さん（72歳・中国河南省在住）が6月30日、42年ぶりに花岡の地を訪れ「中国人殉難者慰霊祭」に参列しました。慰霊祭で耿さんは、「歴史を教訓に中日友好の絆を深め、世界平和を願います」とあいさつ。その後、事件とかわりのある信正寺、日中不再戦の碑、中山寮、共楽館跡地、獅子ヶ森などを見て回り、当時の模様を生々しく証言しながら反戦を訴えました。



▲中国の友と交流

県立営農大学校中国農業技術研修生と当市の農業青年との交流会が6月30日に行われ、今後の農業のあり方や共通の悩みなどについて、活発に意見が交わされました。



▲本場の中国料理に挑戦

7月5日に行われた中国料理教室では、参加した20人が講師の浅野重之さんの指導のもと、独特な調味料を使った中国料理に挑戦しました。

平和を願う 市民のつどい

主催
大館・平和を願う市民の会

◆「はだしのゲン2」の上映

とき・7月19日(日)

10時、12時45分、15時の3回

ところ・文化会館大ホール

入場料・300円
(大人も子供も同一料金)

◆原爆写真展

平和図書コーナー

とき・7月18日(土)～19日(日)

9時30分～18時

ところ・中央公民館展示室

入場料・無料